

2021年4月19日

各県会長 殿

一般社団法人 石川県歯科技工士会
会長 杉本 雄一



一般社団法人石川県歯科技工士会生涯研修会 WEB セミナー (ZOOM) のご案内

拝啓 春暖の候、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます

さて、本会ではWEB セミナーを下記のとおり開催させていただきますのでご案内申し上げます。各県技会員の皆様にも広くご周知いただきますよう何卒宜しくお願い致します。

謹白

記

一般社団法人 石川県歯科技工士会生涯研修会 (自由課程)

日時 : 令和3年6月6日(日) 10:00~16:00 (昼休憩あり)

講師 : 前川 泰一 先生

演題 : 「デジタル機器を使用した咬合の与え方
～シークエンシャルオクルージョンの考えを臨床に取り入れる～」

持ち物 : 定規、分度器 (セフィロを分析する実習を行います)

開催方法 : ZOOM による研修会
(参加される方には後日、WEBセミナー詳細を送付致します)

お申し込み締切日 : 令和3年5月31日まで

お申し込み方法 : 石川県歯科技工士会事務所

FAX 076-223-0029 メール gikousikai@po4.nsk.ne.jp

「6月6日（日）石川県歯科技工士会研修会WEBセミナー」

参加申込書（返信用紙）

■ 技工士会名

■ 氏名

■ 住所

■ 電話番号

■ E-mail

石川県歯科技工士会事務所

FAX 076-223-0029

Mail gikousikai@po4.nsk.ne.jp

抄録

デジタル機器を使用した咬合の与え方

～シークエンシャルオクルージョンの考えを臨床に取り入れる～

「形態審美」、「機能咬合」が整う事が最も望まれる最終補綴装置である事は間違いない。前歯部において形態や審美は最重要であり、天然歯に近い補綴装置は治療の成功に直結する。ただ、臼歯部においては、たとえ形態や審美が天然歯にそっくりな補綴装置を作ったとしても、その患者の咀嚼運動に適した咬合面形態でなければ機能せず、不良補綴物となってしまう。

前歯部審美領域において、昨今ではフェイススキャン等を使い患者の要望に応えるための診査診断を行う事ができるようになってきている。臼歯部においても、患者一人一人に合った補綴装置を作製するために診査診断が必要だと考えるのは当たり前の事である。

今回はシークエンシャルオクルージョンの概念の説明を通して、「咬合」の重要性和診査診断の基準について少しでも理解していただけるよう考え、実習も含めながら、日常的な症例からフルマウス症例までをどう考え、どう進めて行けば良いのかをお話させていただけたらと思います。

講師略歴

前川 泰一 (日技認定講師)

1995 前川デンタルラボラトリー開業

1998 JIADS 修了

2003 Sequential occlusion Wax-up コース修了

2005 Sequential occlusion Dr コース修了

2006 S.J.C.D テクニシャンコース修了

2006 ICOI FELLOW 取得

2006 歯然の会 アドバンスコース修了

2008 前川デンタルラボ新設

2008 Advanced Total Diagnosis Course 修了

2009 USC ジャパンプログラム 修了

2009 Oral Design OSAKA コース 修了

